

敷島エリアグランドデザインについて

水泳場整備にあわせて、県と前橋市が連携し、敷島公園「エリア全体」をデザインするため、「敷島エリアグランドデザイン」を現在策定しています。

グランドデザイン(全体構想)とは

将来(50年先までを想定)の敷島エリアの価値を向上させるための「あるべき姿」を示すもので、今後の敷島エリアのまちづくりや公園整備の指針とすることを目的に県と前橋市において共同で策定するもの

(1)グランドデザインの構成

- ① 将来像 (あるべき姿)
- ② コンセプト (方向性)
- ③ 敷島憲章 (①、②をわかりやすい言葉で表現)
- ④ マスターデザイン (エリア全体のイメージ)
- ⑤ デザインコード (景観デザイン等の考え方・ルール)

(2)対象エリア(県及び市営施設)

- ①敷島公園(県)、②敷島公園(市)、③水産試験場、④浄水場、⑤利根川敷島緑地

概念図

敷島エリアグランドデザイン

基本構想編

将来像

自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く
訪れるだけで誰もが元気になる場

コンセプト

公園の概念を超えた超公園
Shikishima Well-Park
敷島ウェルパーク

敷島憲章

将来像およびコンセプトをわかりやすい言葉で表現

- 1 訪れる人が地域とつながる スポーツと交流の場をつくる
- 2 ころも身体も元気になる ひらかれた共創の場をつくる
- 3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす
- 4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 敷島の風致を次の世代に継承する
- 5 いのちの源として緑と水源を慈しみ未来へ持続させていく
- 6 環境を活かし潤いにつつまれたまちのシンボルを育む

デザインガイド編

マスターデザイン

敷島憲章を踏まえ、50年後の将来像としての
ゾーニングと基本イメージ

デザインコード

マスターデザインを実現するため、
分野毎、エリア毎のデザインの取り決め

エリア図



※ これまでの検討経緯については群馬県ホームページをご覧ください。

※ マスターデザイン及びデザインコードに係るパブリックコメントの情報もご確認ください。

敷島エリアグランドデザインURL→ <https://www.pref.gunma.jp/page/186610.html>